

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム うすい

作成日: 令和元年9月30日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	利用者、家族、地域代表、市職員、知見者の参加を得ているが、メンバーが固定化し、ホームからの報告と情報交換が中心の会議となっているため、参加委員を増員し、議題を工夫する等して会議の充実を図る。	地域で活動している有識者、薬剤師や歯科衛生士、看護師、公民館館長、交番の警察官等に参加を要請し、ホームの運営だけでなく、地域の問題と一緒に考えたり、ミニ勉強会を行う等、地域貢献に繋がる会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、地域住民との相互協力体制を整え、非常災害時に備えていく。	夜間帯、夜勤者1人で9名の利用者を安全に避難誘導するために、職員同士で何度も繰り返し訓練を行い、自信をつけていく。また、近隣の住民や区長を通して、非常時にお互いが何が出来るのかを話し合い、相互に助け合う具体的な体制を築いていく。	12ヶ月
3		ホーム便りの作成	利用者の状況やホームでの暮らしぶりを伝えるホーム便りを家族に送付し、ホームでの取り組みや利用者の笑顔を伝え、家族の安心に繋げていく。	日々の暮らしの様子、誕生会、各行事等、利用者の笑顔や穏やかな暮らしぶり、管理者や各担当者からのメッセージを伝えるホーム便りを作成し、家族に発信していく事で、共に利用者を支える関係作りに繋げていく。	12ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。